

カルテ

KARTE



【問い】 3年ほど前から口が渴き、常に口内炎があります。昨年末からは舌がピリピリとやけどのように痛く、口腔外科を受診、舌痛症と診断されました。軟こうを処方されましたが、塗っても改善しません。どんな治療を受ければいいですか。
(女性、73歳)

舌痛症

井上隆弥医師



【答え】 舌痛症は舌や歯肉などに慢性の痛みを感じる病気です。ウイルス性口内炎や口腔カンジダ症、口腔乾燥症など直接的な口の中の炎症のほか、貧血

感知し、脳に伝達して痛みを感じます。しかし、これを繰り返すことでストレスを感じるようになる、だんだん脳が痛みに敏感になり、身体的な原因がなくなっても、ストレスを感じるだけで脳が反応して痛みを感じる、つまり誤作動を起こしてしまうのです。

このため、まず痛みの種類、頻度、どんなときに感じるかなど

このコーナーに相談したい具体的な症状をお寄せください。採用分について医師が紙上でお答えします。〒650-0857
1 神戸新聞社文化生活部。下記のファクス番号、メールアドレスでも受け付けます。住所、氏名、年齢、電話番号をお忘れなく。

方を試してみるのも一案です。

この方の場合、乾燥によって口の中が荒れているようなの

ストレスを緩和する治療も

や亜鉛不足、糖尿病といった全身的な要因、ストレスなどが考えられますが、はっきりとした原因は分かっています。40代以上の女性に多く見られます。

治療の前提として、慢性的な痛みを感じるメカニズムを理解する必要があります。人は体のどこかに病気やけが、炎症があると、知覚神経が痛みの信号を

細かな問診に基づいて、痛みを起している身体的な要因を見極め、それを軽減する治療をします。漢方では、色や荒れ具合などから舌の状態を観察する「舌診」という診察法があります。同時に、痛みのスイッチを入れて

しまうストレスを緩和させる治療もします。ここでも抗うつ剤など西洋医学だけではなく、漢

で、口腔内を潤す薬を処方してもらいましょう。ピリピリしたやけどのような痛みは、すでに神経が過敏になっている状態なので、ストレスを軽減する薬も必要です。いずれも漢方に対応できると思われます。

(兵庫県医師会、井上隆弥) 神戸市灘区、井上クリニック 院長 木曜掲載